

KQ-0700_ml ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・京急700形(2代)とその譲渡車
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ヘッドライトユニット : 1個/セット
- ・テールライトユニット(兼通過標識灯ユニット) : 1個/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱


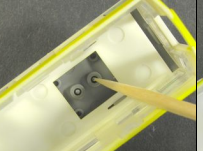

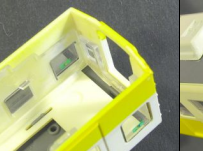

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

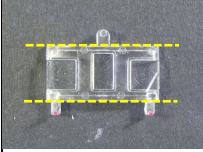
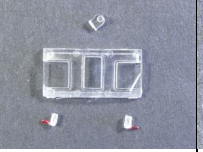



● 取り付け手順

1. 分解する

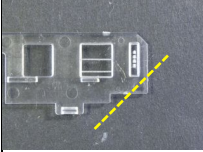
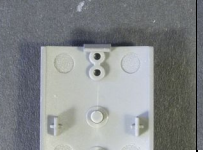
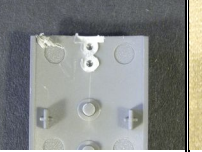
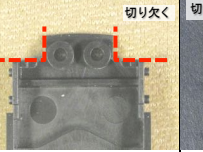
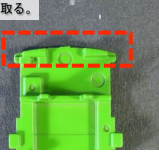
1-1 床板を外す	1-2 バンタグラフを外す	1-3 屋根を外す	1-4 窓を外す	1-5 前面透明パーツを外す
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	バンタグラフは、楊枝などで内側から押し外します。	屋根は、中央のツメ2つを外すと外れます。	窓は、側窓、連結面、前面の順に外します。	前面は、外側から楊枝などで、ヘッドライトレンズ、テールライトレンズを交互に押し外します。

2. 車体を加工する

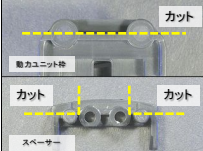




2-1 前面透明パーツを加工する

				
前面透明パーツを、ヘッドライトレンズ、前面窓、テールライトレンズの3つに分割します。カッターで何度かスジを付けて切り取ります。テールライトレンズは使用しないので保管します。			ヘッドライトレンズの脚の部分写真の様に切り詰めます。	前面窓の下側のリブを削って薄くします。窓ガラス面を傷つけないように注意してください。
3mm×16.5mmのポリエステルテープを用意し、前面窓の下端に貼ります。前側から貼り始め、下側すべてを覆うように貼ります。				

3a. 床板を加工する (トレーラー車の場合)

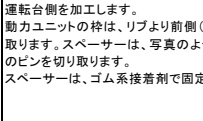
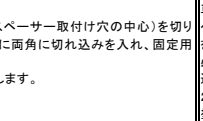
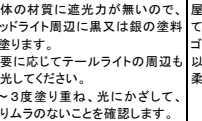
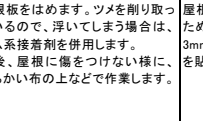
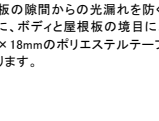
				
側窓前端を、乗務員扉の窓の下前角に接する45度の線でカットします。カッターで数度傷を付けてから折ります。	屋根板前端の爪、アンテナ取付け穴のガイドを削り取ります。	アンテナの穴などの屋根板の加工は、この段階で済ませておきます。	床板前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付けまで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	シート前端の運転台機器り前の部分(約2mm)をカットします。





3b. 動力ユニットを加工する (動力ユニットを組み込む場合)





				
運転台側を加工します。動力ユニットの枠は、リブより前側(スパーサー取付け穴の中心)を切り取ります。スパーサーは、写真のように両角に切れ込みを入れ、固定用のピンを切り取ります。スパーサーは、ゴム系接着剤で固定します。	車体の材質に遮光力が無いので、ヘッドライト周辺に黒又は銀の塗料を塗ります。必要に応じてテールライトの周辺も遮光してください。2〜3度塗り重ね、光にかざして、塗リムラのないことを確認します。			

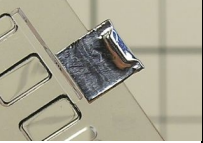



4. ライトユニットを取り付ける

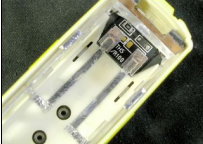


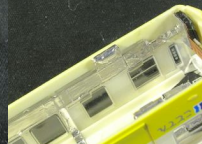
4-1 ヘッドライト周辺を遮光する

				
屋根板をはめます。ツメを削り取っているため、浮いてしまう場合は、ゴム系接着剤を併用します。以後、屋根に傷をつけない様に、柔らかい布の上などで作業します。				

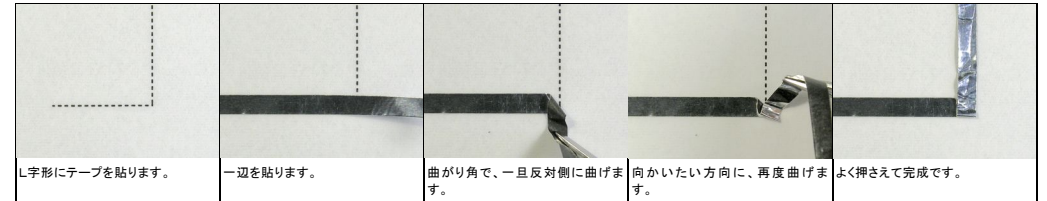
(4-1つづき)	4-2 ヘッドライトレンズの取付	4-3 ヘッドユニットの取付	4-4 ヘッドライト下側の遮光
			
ヘッドライト周辺の遮光を強化するために、幅8mm×長さ6mmのポリエステルテープを、貫通扉上部から屋根にかけて貼ります。	ポリエステルテープに、ヘッドライトレンズの穴を開けます。外側から針で印をつけ、内側から横枝で押し広げます。	ヘッドライトのレンズを設置します。屋根板のツメを削り取っているため、両面テープやゴム系接着剤を使って固定します。	ヘッドライトユニットを両面テープで固定します。

(4-4つづき)	4-5 前面窓ガラスをはめる	4-6 テールユニットの取付	5. 配線する
			
ステップ②: 3mm×6mmのポリエステルテープを2枚用意し、ステップ①の両側、ヘッドライト基板のツバとボディの間に貼ります。	ステップ③: 2mm×6mmのポリエステルテープを用意し、乗務員扉の上の部分、ヘッドライト基板のツバとボディの間に貼ります。	前面窓をはめます。固定が緩い場合は、両面テープを併用します。	テールライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。
			5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たる

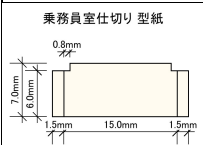


(5-1つづき)	5-2 側窓下にアルミテープを貼る	5-3 側窓をはめる	5-4 ヘッドライトへ配線する
			
ようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所凸部に貼ります。	3mm×97mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。	まず連結面の窓をはめ、次いで側窓をはめます。	1.5mm×約40mmのアルミテープを使って、ヘッドライトの給電パッドから側窓下まで、L字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

5-5 給電パッドの重ね貼り	5-6 テールライトへ配線する	5-7 給電パッドの重ね貼り	5-8 側窓下の重ね貼り
			
ヘッドライト給電パッドの通電の確実を期して、3mm×5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	1.5mm×12mmのアルミテープで、側窓下からテールライトの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	テールライト給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×5.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、アルミテープを重ね貼りします。テールライトとヘッドライトの配線が離れているので、片側あたり3mm×5mmを2枚使って、別々に貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●テープを折り曲げながら貼る



●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
乗務員室仕切り型紙  0.8mm 7.0mm 6.0mm 1.5mm 15.0mm 1.5mm		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。

